



# 組立作業案内書 (パネル表面固定)

折  
り  
畳  
み  
ア  
ル  
ミ  
横  
置  
き  
架  
台

編成:

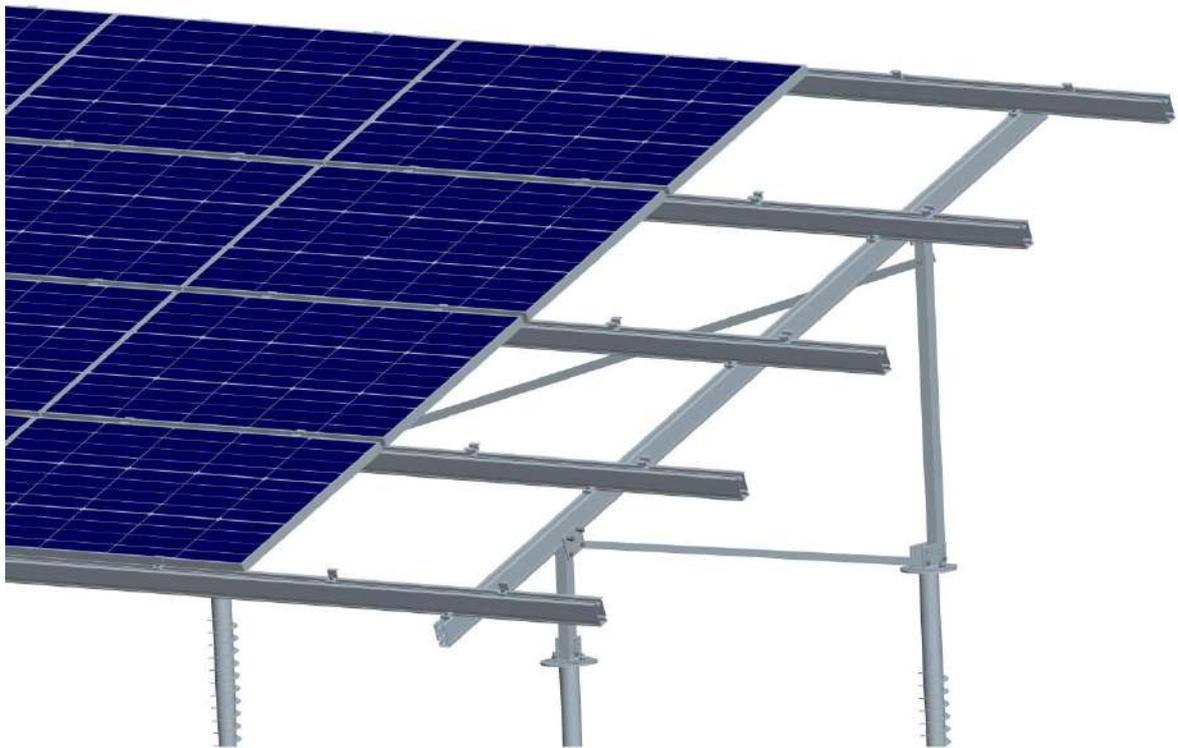
審査:

許可: 株式会社モリタ電器

2016年12月13日



# 地面折り畳みアルミ横置き架台



## 目次

一．商品紹介.....	3
二．取り付け工具と設備.....	3
三．部品構成.....	4
四．取り付け説明.....	5
1. スクリュー杭あるいはコクリート（先埋め）基礎の取り付け.....	5
2. 主材セットと筋交いの取り付け.....	6
3. レールの取り付け.....	9
4. モジュールの取り付け.....	13
五．取り付け注意事項.....	15

## 一. 商品紹介

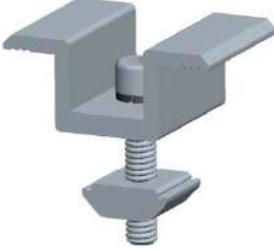
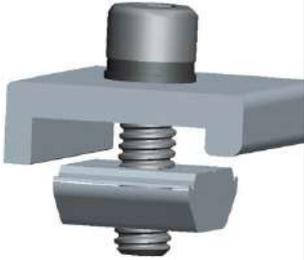
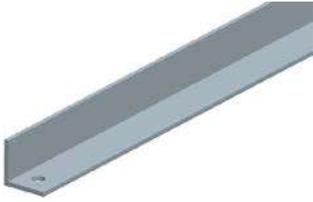
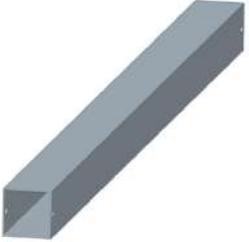
安泰地面折り畳みアルミ架台(折り畳みアルミ)は斬新的な太陽光発電架台システムであります。独特な事前組立システム及び特定のなレールで取り付けの簡単化を実現する同時に、架台システムの安定性も更に優れています。デザイン部品の高品質、配属品の種類が少ない、事前取り付けなどの特徴で組立の時間及びコストを大幅に減少できる、大型地面工程に向け、効率が高い架台システムであります。

取り付け前に、案内書をご覧ください。

## 二. 取り付け工具と設備

			
6mm 内六角ボルト用レンチ	ドリルドライバー	メジャー	マークペン(細い)
			
トルクレンチ	ひも	モンキーレンチ	パイプレンチ (M10/M14)

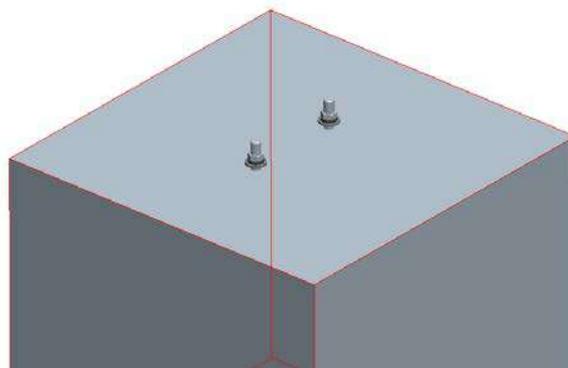
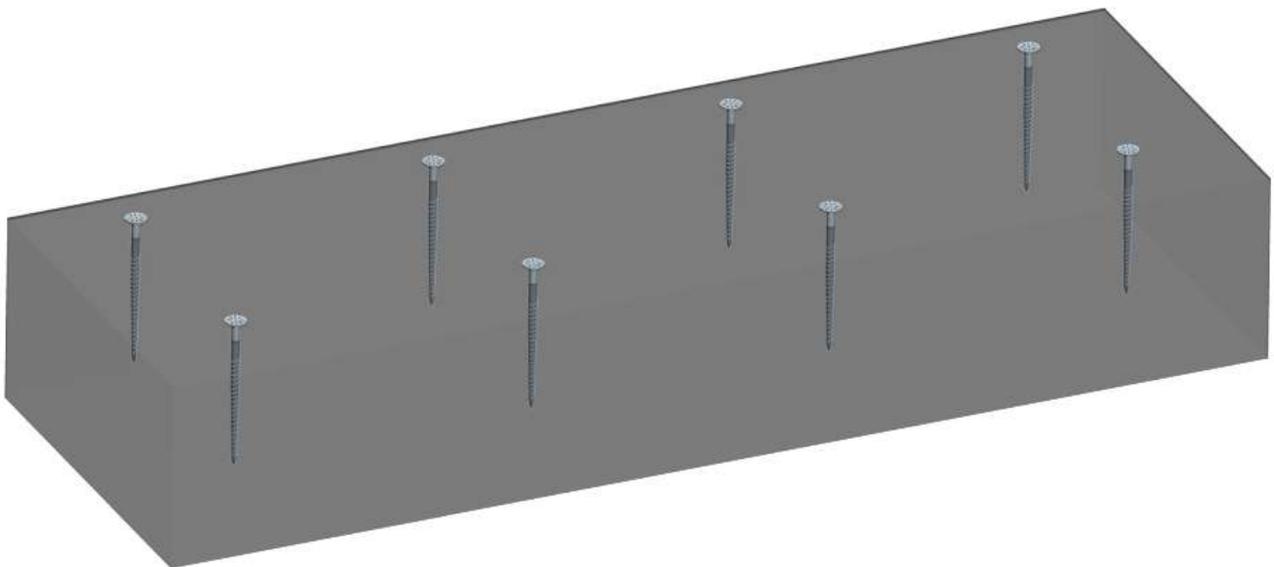
### 三. 部品構成

主要部品表			
			
側面固定金具	中間固定金具	レール	レール締結金具
			
ベース	レール固定金具	筋交い	柱材

## 四. 取り付け説明

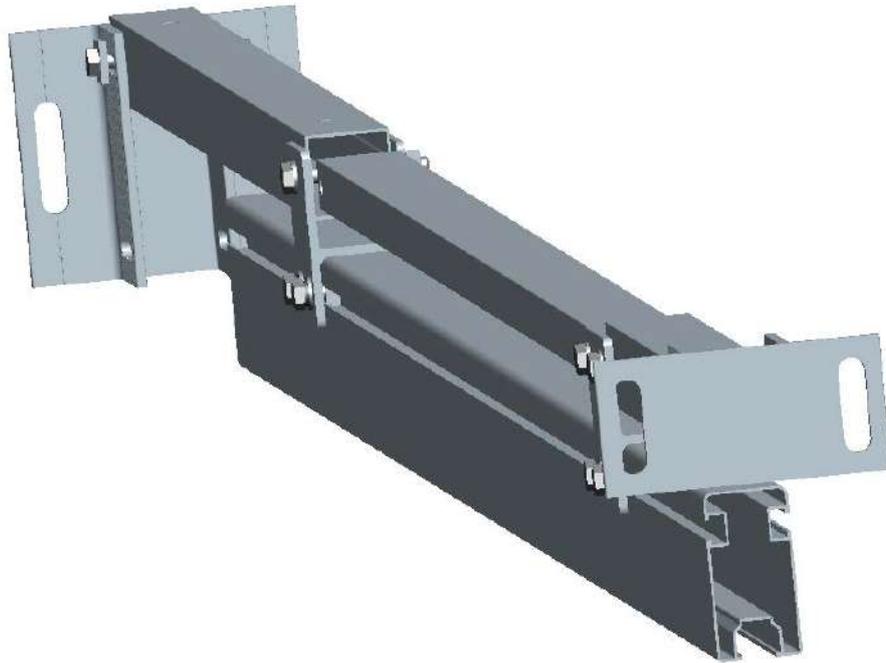
### 1. スクリュー杭或いはコンクリート基礎の取付

取り付ける前に、取付工具及び各部品を事前に用意すること。施工図の計画により、各スクリュー杭の場所を標記する。スクリュー杭を地中に打ち込み時、同じ列のスクリュー杭は同じ線と同じ高さにすることを確保する。同時にスクリュー杭の棒状な穴も同じ方向に統一する。

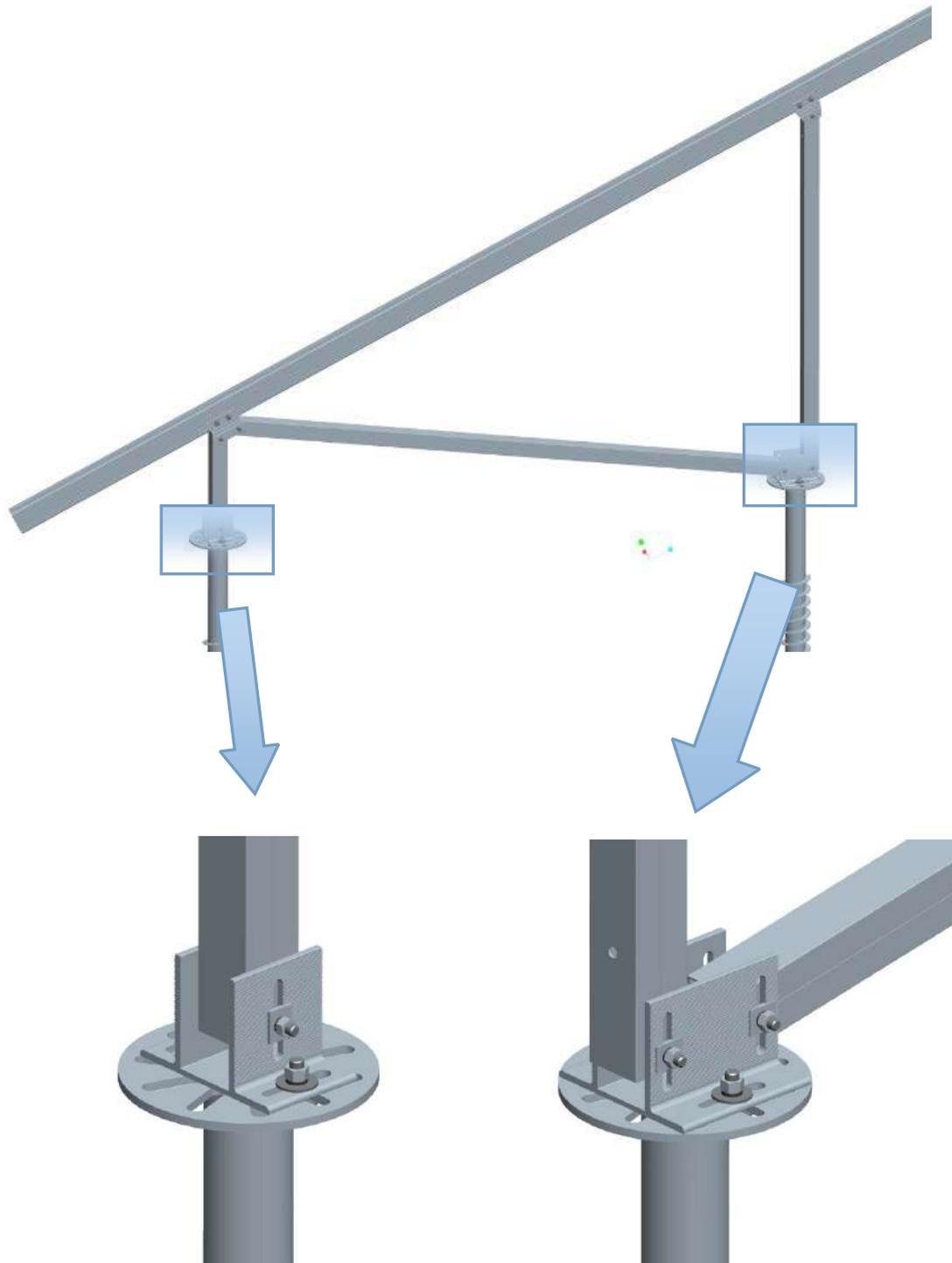


## 2. 主材セットと筋交いの取り付け

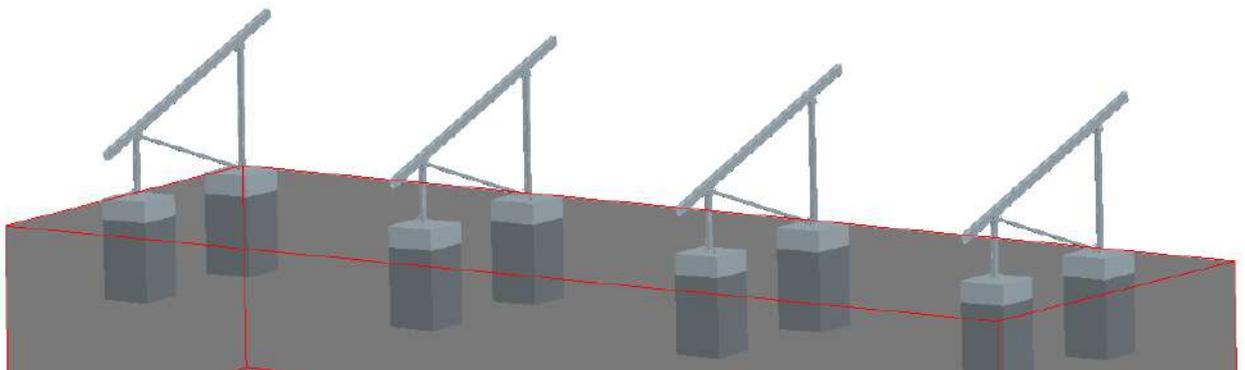
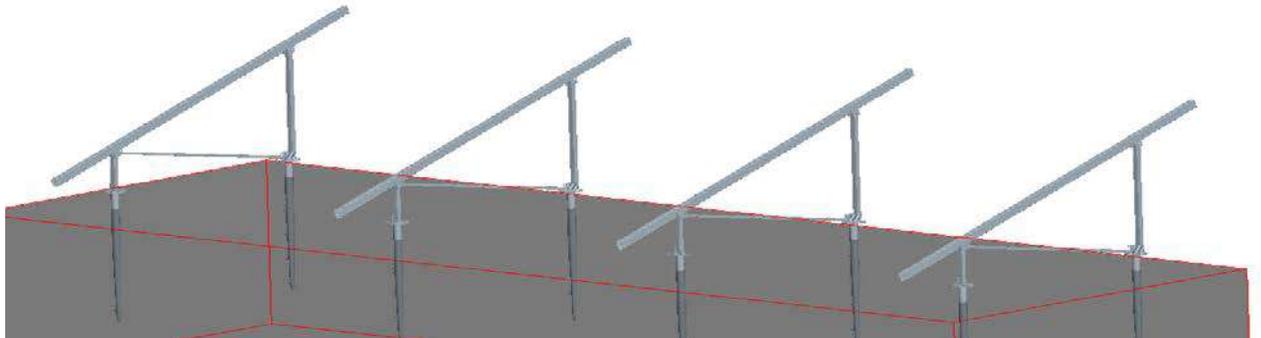
2.1. 主材セットを展開して、斜材の端部をベース固定金具(後)に固定する。



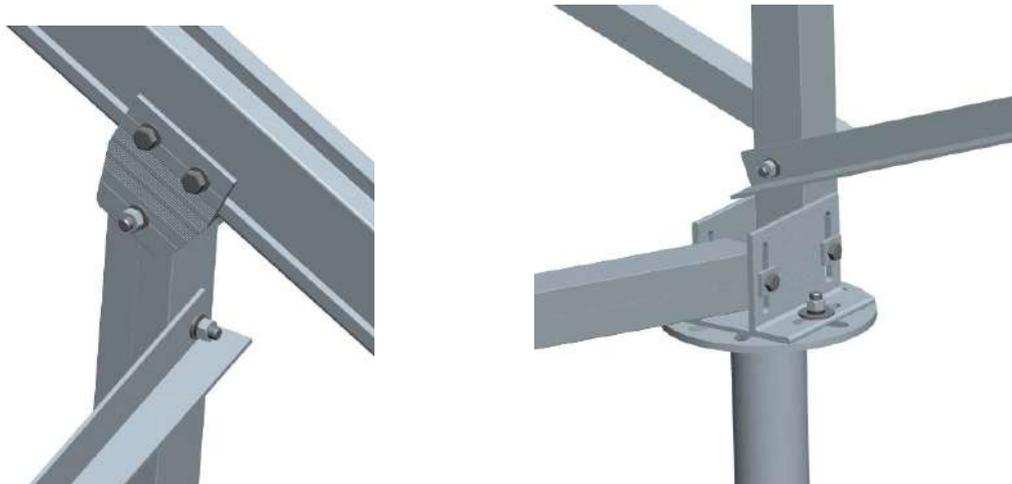
2.2. 主材セットをスクリー杭或いはコンクリート基礎に置いて、対応した固定金具で固定する。



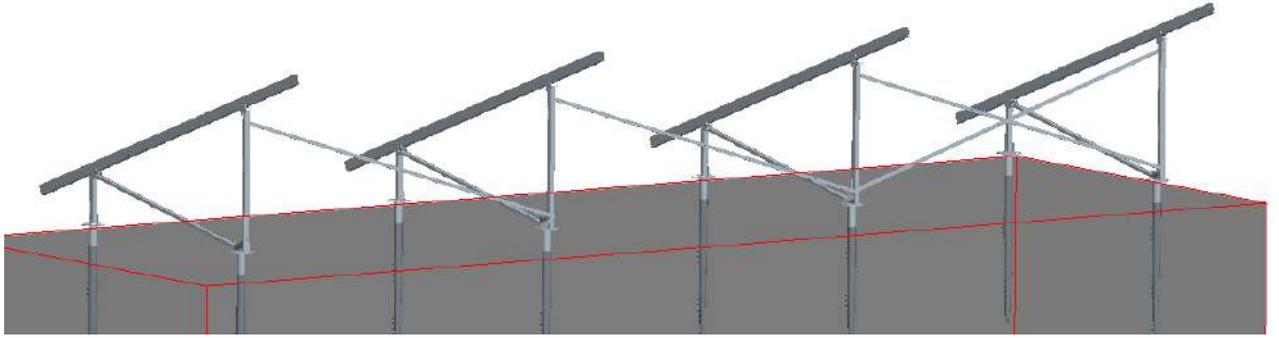
2.3. 以上の取り付け説明通り、順番的に取り付ける。その上、図面の要求により、サイズ調整して、高さの統一、レールの取り付け高さの一致を確保する。



2.4. M10\*90ボルトを柱材に通して、筋交いを固定する



図面要求通り、必要数量の筋交いを取り付けて、ホルトをしっかりと締めること。

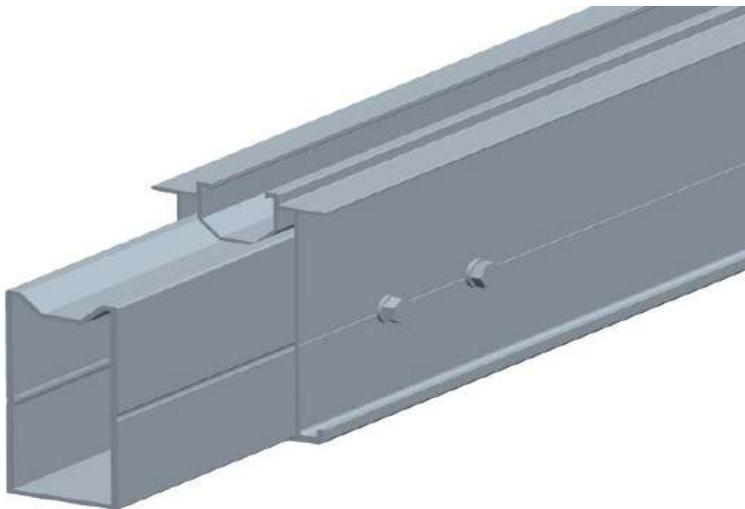


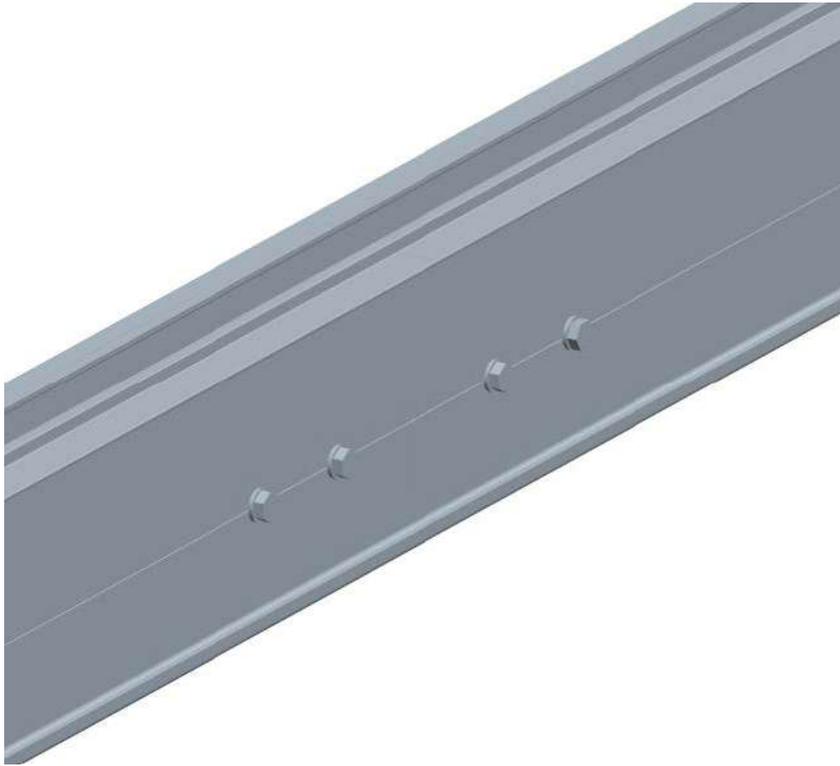
### 3. レールの取り付け

#### 3.1. レールの取り付け

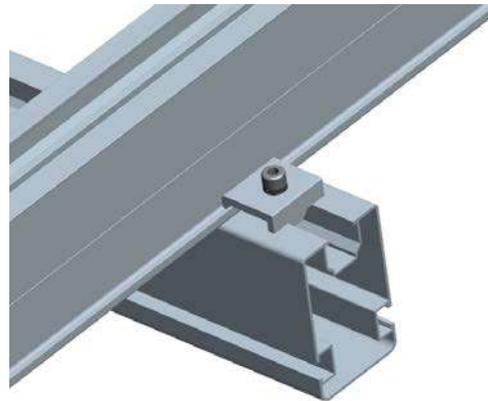
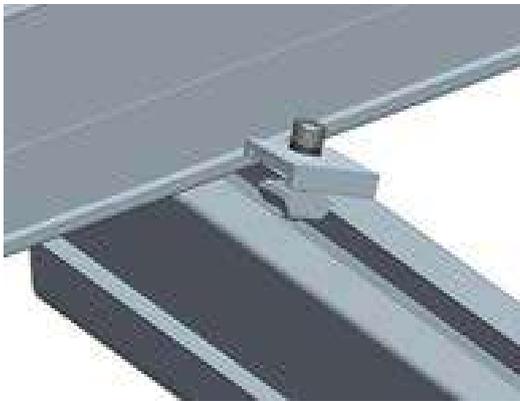
(レールの長さが足りない場合、連結が必要である。レールの長さが十分な場合、このステップは要らない。)

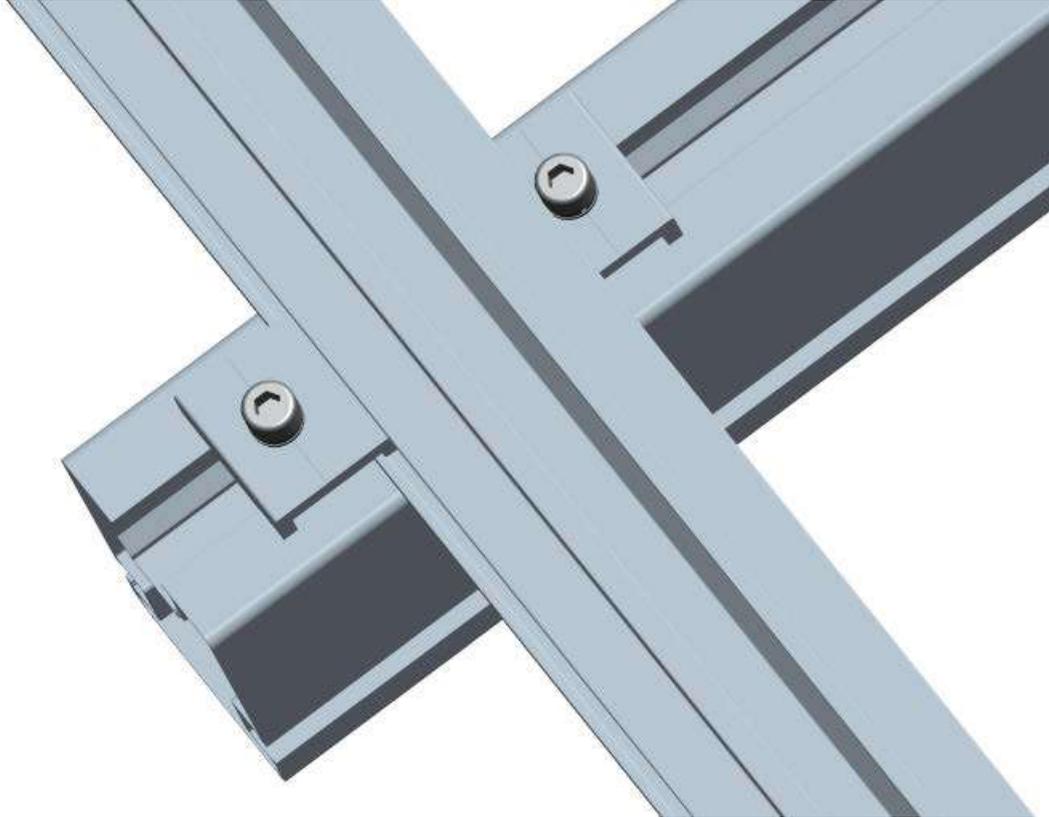
まず、レール締結金具をレールに押し込んでから、両側に2枚のタッピングネジで固定する;次ぎは、レール締結金具をもう一つのレールにしっかり押し込んでから、両側にも2枚のタッピングネジで固定する。





3.2. レール固定金具でレールを主材に固定する。(両側各一枚)。



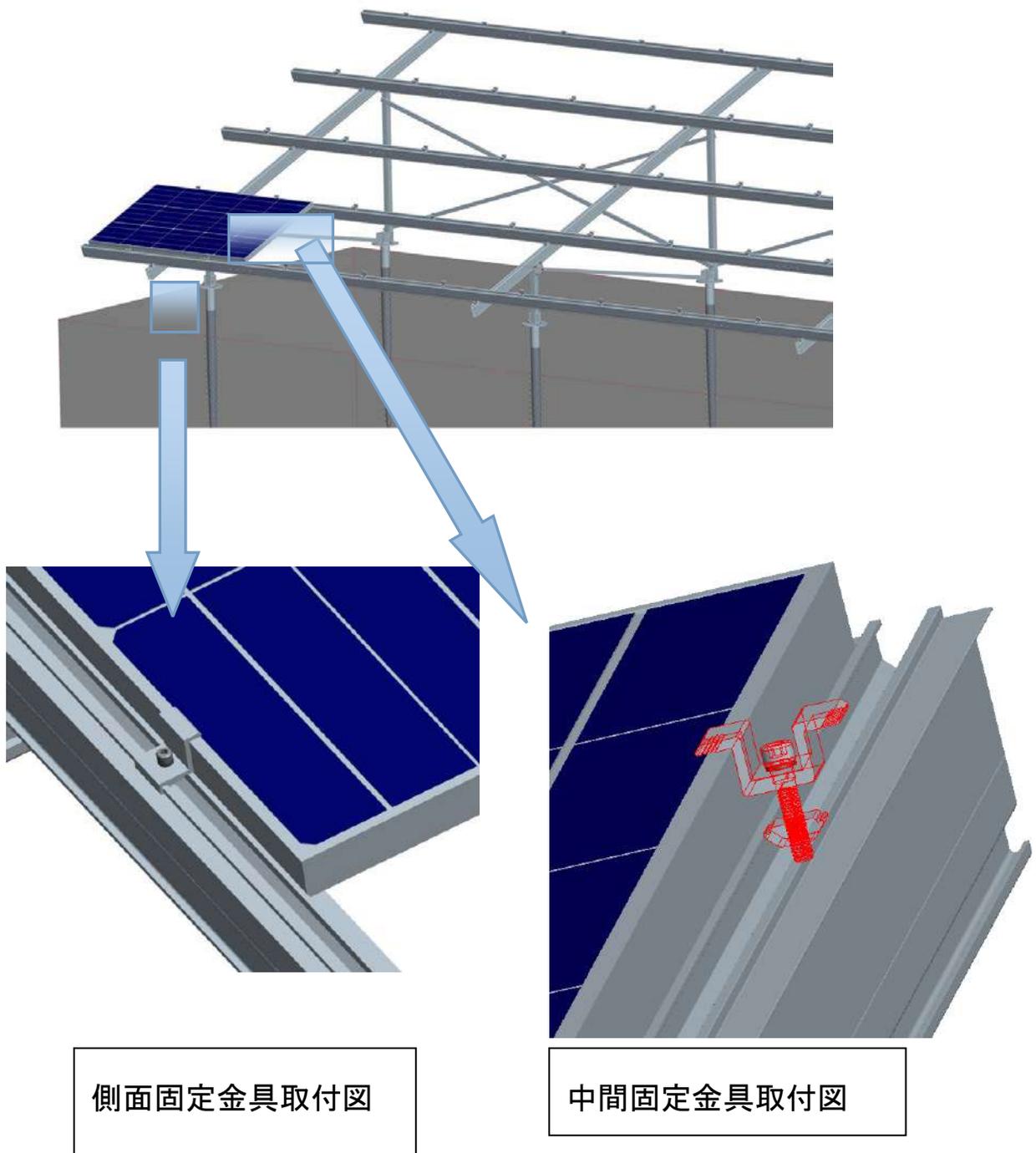


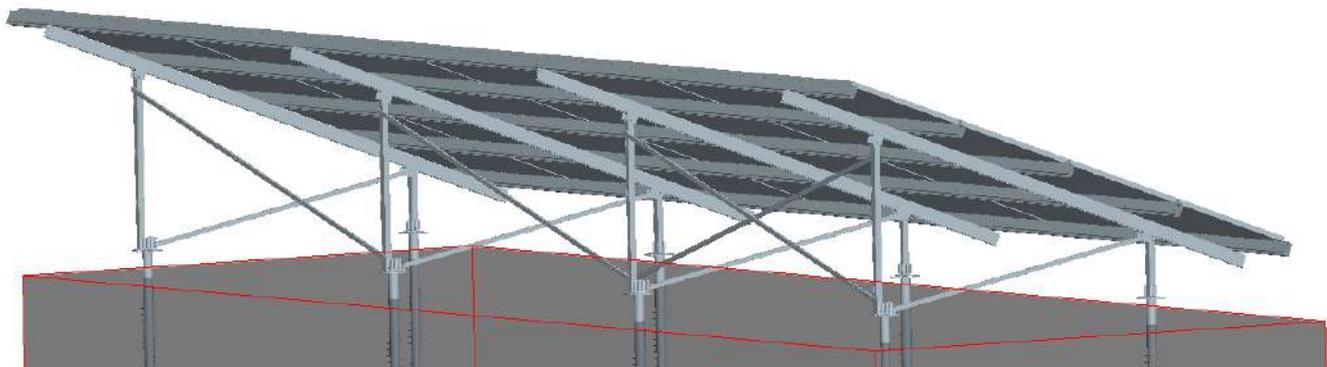
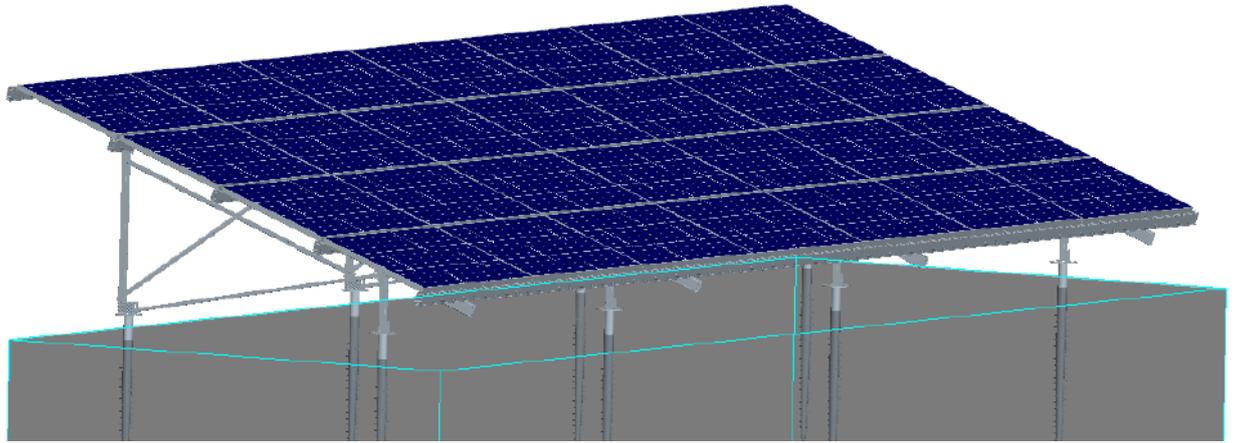
3.3以上の取り付け説明の通り、図面のサイズ要求により、順番的に取り付け、その上、各ボルトをしっかり締めることを確保すること。



#### 4. モジュールの取り付け

## 4.1. 下の端部から取り付けることを薦め





## 五. 取付注意事項

### 5.1. サイズ注意事項

組立時具体的なサイズは作業施工図を標準にしてください。取り付け案内書は商品を取り付ける時にご参考だけに使用してください。

### 5.2. ステンレス固定金具を取付注意事項

ステンレス鋼板は優れた延長性があり、炭素鋼とは本質的な差があり;適当な使用ではない場合、ボルトとナット取り付け後、取り外すことができない恐れがあります。即ち、ロックされることでもあります。ロックされることを防止するため、下記方法をご参考ください。

#### 6.2.1. 摩擦係数を減少:

- (1) ボルト表面の清潔を守ること(例えば埃、砂、雑物が無いように);
- (2) 取り付ける時、表面にはクレヨン或いは潤滑剤をかけること(例えば、グリース、40#エンジンオイル);

#### 6.2.2. 正確な操作方法:

- (1) ねじ山に垂直に締め付けること、斜めにしないように注意してください。
- (2) ボルトを締め付ける時、平均トルク値で締めること。トルク値は規定範囲を超えないように注意してください。
- (3) できるだけモンキーレンチ或いはドリルドライバーを利用しなくて、トルクレンチ或いはパイプレンチを使ってください。ドリルドライバーを使用する場合、回転スピードを減らします。
- (4) 高温状態で使用することを避けてください。温度が急速に上昇することによってロックされることを起こされないように、使用する時快速回転しないでください。(例えば、ドリルドライバーなどの使用)



株式会社モリタ電器

〒135-0091

東京都港区台場2-2-2 ウエスト棟602

☎ 03-3527-6771

e-mail: tyou@mrt-electric.com

Http://www.mrt-electric.com